

令和3年度病害虫発生予察指導情報
 対象病害虫：ハスモンヨトウ No. 4（野菜）

令和3年9月13日
 鳥取県病害虫防除所

1 発生状況

(1) 9月第1半旬現在、フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数は、平年並～やや多い。また、フェロモントラップの誘殺ピークは9月上旬～9月中旬と予想される
【野菜ほ場（ブロッコリー）におけるフェロモントラップ調査】

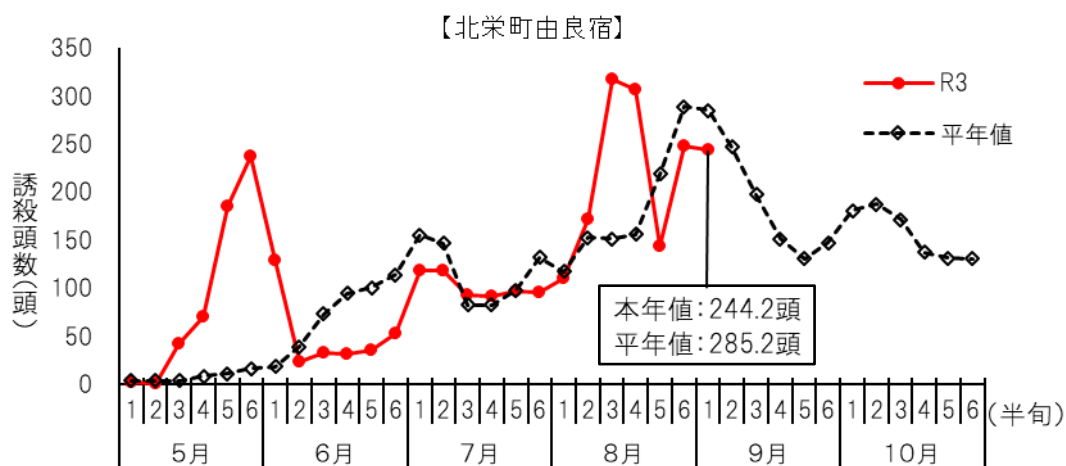


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数（調査地点：北栄町由良宿）

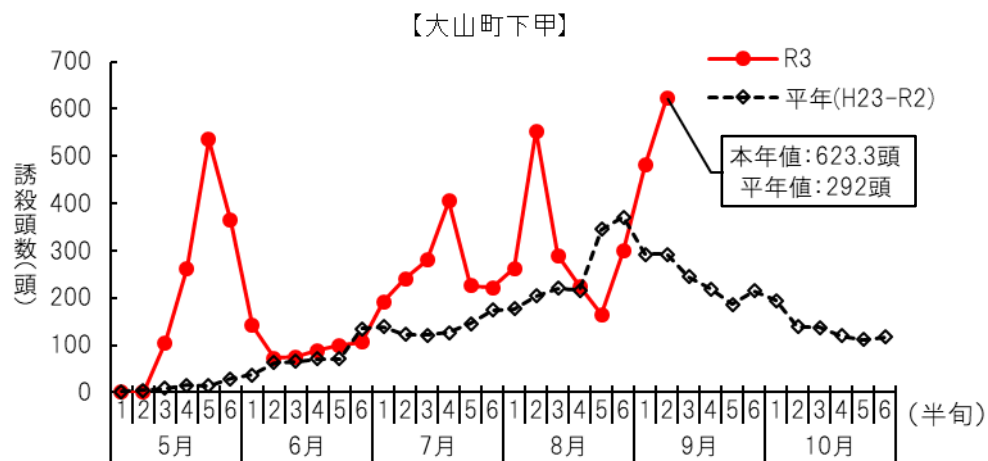


図2 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数（調査地点：大山町下甲）

(2) 野菜圃場（ブロッコリー）においては、誘殺数が例年より多いことから、今後、次世代の産卵数及び食害被害が増加すると予想される。

2 防除上注意すべき事項

(1) 野 菜

ア 薬剤の感受性が高い若齢幼虫期（体長 1 cm 以下）に防除を行う。食害痕が見られ始める頃が防除適期である。

イ 食害痕は不整形の白斑となり、更にかすり状に透けて見える。はじめ卵塊から孵化した幼虫は集団で産卵場所やその周辺にとどまり、葉の表皮を残して葉肉部を食害する。ほ場内を観察し、食害痕が目立つ株に注意する。



図1 ハスモンヨトウ成虫（ダイズ）



図2 ハスモンヨトウ幼虫（老齢）



図3 ハスモンヨトウ卵塊（左）と若齢幼虫（右）